

## 岡山市政ニュース(1) 2004年1月25日(日) No.205(通213)

発行者 日本共産党岡山市議会議員団 岡山市大供1丁目1番1号(市議会内)  
〒700- 電話(086)803-1000 8544 内線 4370・4371  
田畑賢司 崎本敏子 竹永光恵 藤沢和弥 稲葉泰子

### 合併・政令市 議員在任特例を使えば約10億円の無駄遣いに!

#### 市民へはたった十二日間の駆け足説明

岡山市(萩原誠司市長)は二市二町(岡山・玉野・灘崎・御津)が合併して政令市になるための準備を遮二無二進めています。

一月二十九日を皮切りに十二日間の「市民説明会」(各中学校区毎に公民館等)を開催し、二月定例岡山市議会に法律にもとづく「合併協議会」設置を提案する予定です。

説明の内容は、現在進められている「県南政令市構想任意協議会」の「中間報告」です。これで「市民への説明がすんだ」ということになるのでしょうか?

#### 議論尽くさず ”見切り発車” の「中間報告」

任意協議会は昨年七月に設置され「合併方式」「事務事業」「将来ビジョン」の三小委員会を設置して月一回のペースで会議を開催。しかし、委員の質問には答えず 強行採決 するというひどいやり方でした。「合併しないと破綻するが、合併したらよくなる」という、一方的な事務局案の財政シュミレーションの採決を強行し「中間報告」として市民に説明するというひどい内容です。

そのうえ合併方式は「対等合併」で議員の在任特例は適用しないという任意協の結論を次の 法定協 でひっくり返そうという 悪たくみ もすすめられています。

#### なぜ議員は在任特例を望むのか?

在任特例は議員の身分を、町議も含め一〇五人全員(報酬特例を併用)を岡山市議とするものです。そうなれば、二年間で約十億円(年四億八千万円)の無駄遣いとなります。岡山市以外の議員の報酬が今の倍以上になるからにほかなりません。

こんなことで「合併」していいはずがありません。

## 下水道料金値上げ！えっ！38%も！

昨年十一月市議会で八年ぶりに下水道使用料が値上げされました。平均で月使用水量二十立方メートルで、三十八%の値上げ幅。なんと年金生活の一人暮らしの高齢者など平均八立方メートルでは値上げ幅が六十%を超えるという弱者に負担がかかる結果となりました。四年前岡山市は、下水道の普及率を国にごまかして報告をしていたことが判明し、四十一億円も国に返還しました。そのうち返還すべき交付金が二十億円、罰金分は二十一億円です。一九九一年(平成三年)十二月市議会で我が党市議団が普及率の誤りと是正を指摘していました。その時に是正されていれば、二十一億円の罰金は払わなくてもよかったですと思います。市民にとって、大きな損害です。この損害金が下水道事業に補填されていれば今回のような大幅値上げはしなくてもよかったです。

長引く不況のもと、今後水道料金を始め公共料金値上げを、絶対させないように、みなさんと力を合わせたいと思います。

ひと 平田香奈子さん(23才)

岡山県平和委員会 事務局員

平和、学んだことを行動に！

「昨年、有事法制化の動きのなかで、自分で本を買って勉強し、『何かしたい』と思っていました。そんなとき街頭で有事法制反対の署名行動をしている青年達(民青同盟)と出会い、その場で『私のしたかったことはこれ』

と仲間入り。それが平和運動に関わるきっかけとなり、平和委員会の仕事を紹介されました。何事も経験と飛び込んだこの仕事、まだ始めて三ヶ月。「それでも漠然と思っていたことを学べば確信になる、学んだことをどうひろげるか、今自分に出来ることを模索中」という平田さん。趣味はテニス、地雷撤去のNGO活動の経験もある行動的な長崎出身の女性です。



平和・憲法・くらしといのちを守って頑張ります。



ホームページ <http://homepage2.nifty.com/jcpoka/okym/>

メールアドレス [kyousantou\\_shigidan@city\\_okayama.okayama.jp](mailto:kyousantou_shigidan@city_okayama.okayama.jp)

市政ニュース 2004年1月25日(日) No.205(通213) (2)

## 管理職の責任を明確にし「告訴」をとり下げよ！

### 小規模工事問題 その後

都市整備局や経済局で約九十八%が要綱違反でありながら市長は職員を告訴。この小規模工事問題について十一月議会で各会派がとりあげました。その多くが、「権限をもっていない担当職員を告訴したが、決裁者の課長以上の管理職の責任はどうなっているのか」と追及。岡山市は、「担当者だけでは、到底対応できない。組織的問題だ」と認めながら市長の責任を問わないばかりか、関係者の公開もしようとしません。

また、市議会は賛成多数で平成十四年度決算を認めてしまいました(共産党、市民ネット、保守系一人は反対)。要綱違反を承知で公明党や多くの保守系議員が決算を追認することは、市議会の役割を放棄することです。非を非としてきちんと正していくことが議会の役割です。

日本共産党市議団は、管理職の責任の明確化 関係者の公表 生活に密着した道路橋梁等の予算の確保 職員の体制の拡充(年間一〇〇〇件を越す要望に対応できるように) 小規模工事の上限額を百三十万円を百万円以下に下げることなどを提案し、再発防止を強く求めています。

「小規模工事問題の真相を究明する会」(羽村昇会長)は実態を聴く会を開いています。

## 本当に経営改善？ 市民のための施設に！！

岡山市操車場跡地に昨年四月からオープンした「岡山ドーム」の管理運営を今の(財)岡山市公園協会から隣接するアクションスポーツパーク岡山(ASPO)の管理運営会社・エックススポーツジャパン(エックス社)に委託しようとしています。一昨年十一月の定例市議会ではエックス社への委託を念頭に同社への出資金予算七千百万円を否決しました。今回、株主の一つである蜂谷工業から約二億円の追加出資、さらに一億円の長期貸し付けをうけたことで当局は経営改善の見通しが出来たとしています。

そもそも岡山ドームやアスポは市民がスポーツ等の活動を通し憩い楽しむ場です。本来の目的に対する利用者が減っている状況の中、また一億円以上の未払い金の処理がされないなかで、経営が改善したとは言えません。エックス社に管理運営を委託するので

はなく、現状の公園協会の運営で市民に使いやすくするべきです。

## 新駅設置は、市民やJRと十分な協議を

十七年の国体までに間にあわせたいとして、十一月議会に、岡山庭瀬間(操車場跡地)の新駅建設の詳細設計予算、七千九百四十万円が提案されました。

日本共産党岡山市議団は、赤字駅となること及び建設費が全額岡山市負担となることなどの理由で拙速に進めるべきでないと主張しました。

駅舎・通路・広場などで、十五億円ともいわれる事業費も、高島駅や上道駅と比べても莫大です。

十一月議会では、建設事業費負担問題も含め、当局はJRとの協議をすすめ、合意がなければ、建設予算を執行しない事を確認しました。

## やったね！市民の声が届いた！

### 病院管理者成功報酬ついに廃止

市民から批判の強かった岡山市立病院管理者の成功報酬制度(赤字削減幅の二十%を報酬)が管理者の辞職にともない、ついに廃止。しかし初年度で八千三百万円、退職金二百七十万円など多額な税金が管理者一人だけに支払われたのは大問題です。

## 育休中の保育も可能に！！

育休中は「保育に欠けるとみなされない」と育休中の上の子の保育の打ち切りにたいし、困るという声が市議団へよせられました。さっそく保育課へ申し入れ、受け入れの検討を約束！ よかったね

## 国保制度の改善を提案予定 - 国保プロジェクトチーム -

岡山市民の約四十三%が国民健康保険に加入しています。最近では失業者が多く加入者は増えています。加入者のうち、所得が百万円以下の世帯が約五十五%、二百万円以下は約七十四%となっており、経済的には生活の苦しい人が多いのが実態です。

日本共産党市議団は医療関係者や加入者の多い民主団体の皆さんと国民健康保険制度

の改善についてプロジェクトチームで検討してきました。

岡山市の保険料は中核市の中で第五位と高く、収納率は約八十七%です。今後、予防、保健活動の充実や減免制度の新設など、市に対する提言書をまとめる予定です。

## 2月定例会市議会日程

2月18日議会運営委員会

25日開会

3月3日～5日代表質問

4日日本共産党代表質問

竹永光恵市議

5日請願・陳情締切

8日～12日個人質問

15日～17日常任委員会

19日閉会

## 編集後記

元旦から小泉首相が靖国神社参拝というニュース、平和に対する挑戦です。イラクへ自衛隊派兵など国も岡山市も激動の幕開けとなりそうです。特に二月議会では、合併・政令市の問題、来年度予算の福祉削減をくいとめるなど大きな山場です。住民自治の原点にたちかえって五人力を合わせたいと思います。今年もよろしくお願いします。